

# ふれあい

2022  
vol.103

高知高須病院 院内誌

## 特集 高知高須病院で 芸術に触れて みませんか

(P2~P3)



- 四国透析療法研究会  
学術奨励賞
- 人生いろいろすずなりリレー
- 永年勤続表彰式
- 「分院」だより
- 「はるか」だより
- ひまわり通信
- 正しく知って、一緒に考えよう  
腎臓病とその治療
- ニューフェイス紹介
- クラブ活動報告
- ご結婚・ご出産おめでとう

## ニューフェイス紹介

2021年11月1日~2022年2月15日  
①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



①美味しいものを食べること  
②明るくて清潔感のある病院だな  
としました。職員の方々も丁寧  
で温かく感じました。  
③未経験の分野に不安もありますが、  
精一杯頑張ります。よろしくお  
願いします。

透析室 看護師  
志賀 桃子 (しが ももこ)



①お菓子作りヨガ  
②院内は広く明るく、職員の方々  
に優しく接して頂き、温かい雰囲  
気の病院だと思いました。  
③明るく笑顔で、患者さんが安心  
して治療を受けられるよう、日々  
努力していきます。

透析室 看護師  
友村 洋恵 (ともむら ひろえ)



①釣り  
②透析中の運動療法を取り入れ  
る等、高知県の透析医療を牽引し  
ている病院。  
③高須病院の一職員として寄り添  
いの介護を実践できるような努力し  
続けていきます。

透析室 介護福祉士  
松本 和幸 (まつもと かずゆき)



①スポーツ観戦・ウォーキング  
②とても綺麗な施設と、スタッフの  
皆さんの笑顔や温かい対応が印  
象的でした。  
③一日でも早く戦力になれる様、  
精一杯頑張りますので、どうぞ宜  
しくお願致します。

透析室 クラーク  
森本 美花 (もりもと みか)



①旅行・ドライブ  
②明るく開放感があり、スタッフの  
方も温かい雰囲気だと感じまし  
た。  
③約16年間特養で働きました。ご  
迷惑をおかけする事もあると思  
いますが、頑張ります。

病棟 介護福祉士  
山崎 史博 (やまさき ふみひろ)



①ドライブ  
②同じ臨床工学技士の方が何人  
もいた事に驚きと安心を感じまし  
た。  
③一生懸命頑張っていますので  
よろしくお願致します。

臨床工学部 臨床工学技士  
吉本 優希 (よしもと ゆうき)



①カメラ・動画編集  
②スタッフの方一人一人が患者さん  
に親切で、すごく和やかで優し  
い雰囲気が好印象です。  
③人と接する事がとても好きでコ  
ミュニケーション能力に長けてい  
ると言われます。

検査部 臨床検査技師  
門田 邦弘 (かどたくにひろ)



①映画鑑賞、裁縫  
②院内は明るく清潔で、職員の方  
々も優しくとても温かい病院と  
いう印象を受けました。  
③病院での調理経験がなく不安  
もありますが、精一杯頑張ります。  
よろしくお願致します。

栄養部 調理師  
鶴原 もえ (つるはら もえ)



①ドライブ・旅行  
②明るく優しい雰囲気。職員さんの患者  
さんに対する親切でアットホームな  
対応に感心しました。  
③安全、快適、正確、迅速をめざ  
し、日々自己啓発に努めます。

車輦 運転手  
都築 典夫 (つづきのりお)



①ドライブ・孫や愛猫と遊ぶこと  
②診察、検査結果の説明も分かり  
やすく、丁寧に対応してくれ好感  
が持てました。  
③私は初対面の人から話かけやす  
いと言われる事が多く人当たりが  
良い性格だと思います。

車輦 運転手  
宮島 正一 (みやしましょういち)



①食べること  
②職員の方々が笑顔で優しく接し  
て下さり、温かい雰囲気の職場だ  
と感じました。  
③人とのご縁を大切に、丁寧に仕  
事に取り組んでいきたいです。よろ  
しくお願致します。

訪問看護ステーションあき ケアマネ  
和田 恵理 (わだ えり)



[尚腎会 2022年1月の診療実績]

●外来患者数/3,197人 ●紹介患者率/22.6% ●新入院患者数/84人 ●退院患者数/79人 ●平均在院日数/18.0日 ●病床利用率/73.9%

## ふれあい vol.103 8 クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

### 【第40回 TEAMきずな杯】

■日時/2022年1月22日(土)  
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ  
(黒潮コース)

優勝 寺尾 尚民(会長)

準優勝 十河 清(ゲスト)  
3位 濱岡 嘉一(ゲスト)  
4位 中野 知夏(ゲスト)  
5位 堀川 健太(管理部)

### 【第41回 TEAMきずな杯】

■日時/2022年3月5日(土)  
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ  
(黒潮コース)

優勝 寺尾 尚民(会長)

準優勝 上杉 和孝(ゲスト)  
3位 和田 建夫(東部医師)  
4位 福富 敬(外科部長)  
5位 寺尾 美智(副理事長)

## ご結婚おめでとう

透析室 新地 めぐみ(しんちめぐみ)さん  
旧姓/近澤(ちかさわ)  
2021年11月12日入籍

栄養部 北村 典子(きたむらのりこ)さん  
旧姓/北村(きたむら)  
2021年12月22日入籍

## ご出産おめでとう



沖 美和(おき みわ)  
透析室  
2021年9月1日生まれ  
美玲(みれい)ちゃん



山下 絢香(やました あやか)  
病棟  
2021年10月9日生まれ  
瑠月(るつき)ちゃん



金堂 瑞希(こんどうみずき)  
透析室  
2021年10月15日生まれ  
沙和(さわ)ちゃん



徳広 里貴(とくひろりき)  
安芸看護部  
2022年1月29日生まれ  
悠里(ゆうり)くん



# 特集 高知高須病院で 芸術に触れて みませんか



横山 千春さん

高知高須病院で芸術に触れてみませんか。院内を見回すと、多くの絵画やオブジェに気付かれるはず。展示されている作品の一部を表にまとめましたので、ご来院の際はぜひご覧ください。

今回はその中の一つ、院内2ヶ所に展示している「花と旅する物語」を描かれた横山千春さんに制作について作風などをお聞きました。「花と旅する物語」は和紙を用いた温かい雰囲気のある絵画です。1階腎臓内科前と2階透析室ロビーに展示しています。

## 院内展示 横山さんに作風を聞きました

フロア	作者名	作品名	分類
1F	石川 充宏	Girl in chairV	オブジェ
	近藤 可連	五言詩帖	書道
	清水 新也	ぼくの紙ヒコーキ	絵画
	田中 白歩	青葉	書道
	福富 耿介	もやい船	絵画
	古谷 知子	WAVE	オブジェ
	古谷 知子	波映	オブジェ
	横山 千春	花と旅する物語	絵画
2F	横山 千春	花と旅する物語	絵画
3F	田内 松峰	健	書道
	平野 月子	利尻の夏	書道

※作者名は敬称略

### 絵の中で季節を旅する

「花と旅する物語」— 高知高須病院様に飾って頂いている2枚の絵のタイトルです。タイトルは一緒なのですが、季節が春隣と1月、2月の花を描いたものと、もう一つは6月、7月のあじさいを描いています。ほかに「花と旅する物語」というタイトルで8年くらい制作しているのですが、自分も一緒に絵の中で季節を旅しているような気持ちで描いています。絵の中のたくさんの白い鳥は、尾っぽがふわふわしている私の好きなクジャクバト

### 感謝でいっぱい

病院に飾って頂けるといっことは、何よりも作家冥利に尽きます。自分が逆に刺激をもらって、また制作意欲をもらっています。「絵を買って頂ける」といっことは嬉しいこと、嬉しいことなので。もともと私、病院や施設に飾ってもらいたいなと何年も前から思っていたんですが、口には出していませんでした。店内に飾るだけだったので、まさか病院に飾って頂けることになって、「すごく頑張らない」と、「またいい作品を描かない」といっ想像になっていきます。すごく感謝でいっぱい

### 絵を描くこと、見ること、そして和紙の温かいところが好き

和紙は温かいところが好きで使っているイベントが開催されました。和紙の生産者が減ってきたので、和紙をもっと知ってほしいという企画に「Kochi art warming」として、自分たちに何かできないかなと思っって参加しました。来年もいろいろと企画しています。

私としては年に1回はここで個展を開きたいなと思っています。常連の方や年配の方がなかなか美術館やギャラリーまで行けないけど、ここで楽しんで頂ける方もたくさんいらっしゃるの、やりたいな、続けたいなという想いはあります。

インタビュー・写真撮影  
広報委員／三好可奈、吉田哲也、  
古橋由貴



1階／腎臓内科前に展示

### 店内ギャラリー「さくらとito」について

店内ギャラリーはもともと作業場でした。4年前から店内にギャラリー「さくらとito」を設けました。中島みゆきさんのヒットソング「糸」から着想して、いろんな人と巡り合い繋がるようにと名づけました。

## こぼれる可愛さを絵で表現したい

ほかの作家さんの作品も飾らせていただけることもあります。ギャラリーを始めて、「いいね」とか「飾りたいな」とか言ってくれる友達や、美大卒の子とかもいるので、そういう方が、ここに送ってくれたりします。私が飾って代わりに販売したりとか、ワークシヨップをしたりとか。和菓子教室もお客さんが喜んでくださるかなと思っ、時々しています。「ロナ」になって、ちょっとできないですけど。お店の方では、最初は広告を書いたり、主人がお菓子の新作を作った時にそのパッケージを描いたりしていました。そこからだんだんお店に大作を飾ったりとか、ギャラリーをつくったりになってきたので、日々、そういうことの積み重ねで、美術館みたいになってきています。

### 今後の作品展開について

今年くらいつから「Kochi art warming」といっグループの活動が始まりました。コロナ禍でも、高知の人達をアートで心温かくしたい、といっことで結成されています。「ロナ」が収まっても続けていけたらなと思っ、いろいろ企画しています。

この間、紙の博物館で私は絵を展示して、ほかのメンバーが踊ったり歌ったりす



### 横山 千春さん プロフィール

2005年京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科洋画卒業。業勉「桜いろ」の女将。土佐和紙にペンと油彩でぬくもりのある作品を描く。「桜いろ」には絵画を常設展示しており、オリジナル絵柄の布雑貨も販売している。店内ギャラリー「さくらとito」で定期的に個展を開催している。第99回二科展洋画初入選、以降毎年入選。高知県展洋画入選。第3回・第4回中土佐町立美術館大賞展入選。病院や地域福祉センター内授乳室などに絵画が展示されている。

# 永年勤続表彰式

2021年11月29日、永年勤続職員の表彰式が行われました。今年度は勤続40年表彰2人、勤続30年表彰2人、勤続20年表彰9人、勤続10年表彰33人の職員が対象となりました。40年前（昭和56年）と言えば、「なめネコ」などが流行語になった年です。表彰された皆さんの長期間の勤務に感謝致します。長年培われた知識と経験を生かし、今後ともよろしくお願ひ致します。

## 勤続40年表彰



看護部長  
前川 三智子  
(まえかわ みちこ)  
地域医療連携室 室長  
三好 可奈  
(みよし かな)

前列 左・三好さん 中央・池辺理事長 右・前川さん  
※撮影時のみマスクを外しております

30年表彰を頂いた時は主に旧病院での思い出を寺尾会長へお伝えしました。今回、新病院へ移転して19年が経過し、後半の20年の思い出は新病院のことにあります。移転してからの大仕事は初めて受けた病院機能評価でした。毎日深夜まで書類を作成し準備をしましたが、その苦勞や認定結果を頂いた時の喜びは今も忘れることができません。

透析室は90床からスタートしましたが、現在は227床まで増床し、県下一の透析施設となりました。また、「はるか」をはじめとする在宅部の設立、透析支援システム導入やダビンチ導入など、日々、院長とともに職員が一丸となって取り組み、進化を続けてきました。これからも理念を実践し、病院力の継続と向上、選ばれる病院になるように尽力したいと思います。

私たちが仕事を続けてこられたのは、子育てしやすい託児所の存在や制度の充実、働き続けていける環境、そして会長はじめ理事長、副理事長、院長、多くの職員のお力添えがあったからだと思ひます。

これからも職員一同、病院発展のために一層の努力をしていきたいと思ひますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願ひ申し上げます。

高知高須病院へ就職し、永年働かせて頂き本当に感謝しています。

ありがとうございました。

勤続40年表彰		
看護 部長	前川 三智子(まえかわ みちこ)	昭和56年4月1日採用
地域医療連携室 室長(看護師)	三好 可奈(みよし かな)	昭和56年4月1日採用
勤続30年表彰		
手術室 師長	山本 芳江(やまもと よしえ)	平成3年3月11日採用
医師事務作業補助室	本山 智代(もとやま ともよ)	平成3年9月21日採用
勤続20年表彰		
医療安全管理室 室長代理	中城 応輔(なかじょう おうすけ)	平成12年10月16日採用
外来看護師	永野 亜矢子(ながの あやこ)	平成13年1月10日採用
臨床工学部 課長代理	豊永 純平(とよなが じゅんぺい)	平成13年2月1日採用
手術室 主任	畠中 左織(はたけなかと さおり)	平成13年2月21日採用
臨床工学部 主任	小川 晋平(おがわ しんぺい)	平成13年4月1日採用
臨床工学部 課長	仙頭 正人(せんとう まさと)	平成13年4月1日採用
臨床工学部 主任	山本 浩平(やまもと こうへい)	平成13年4月1日採用
高知高須病院 院長	大田 和道(おおた かずみち)	平成13年9月1日採用
本院運転手	中谷 俊二(なかや しゅんじ)	平成13年10月2日採用
勤続10年表彰		
栄養部調理師	片岡 知早子(かたおか ちさこ)	平成22年12月6日採用
外来 師長	山脇 弘子(やまわき ひろこ)	平成22年12月21日採用
医事課	田中 裕子(たなか ひろこ)	平成23年1月1日採用
室戸 副主任	岡本 美代(おかもと みよ)	平成23年1月6日採用
検査部 副主任	高橋 奈津子(たかはし なつこ)	平成23年1月21日採用
病棟看護師	橋村 彩(はしむら あや)	平成23年1月21日採用
安芸運転手	高橋 徹(たかはし とおる)	平成23年1月24日採用
室戸看護助手	田中 愛美(たなか まなみ)	平成23年1月24日採用
安芸運転手	中谷 和(なかや かずひろ)	平成23年1月24日採用
透析室介護福祉士	千屋 正和(ちや まさかず)	平成23年2月1日採用
はるかホームヘルパー	岡村 浪代(おかむら なみよ)	平成23年3月1日採用
はるかホームヘルパー	山崎 桜良子(やまさき さよこ)	平成23年3月1日採用
はるか介護福祉士	山本 真由美(やまもと まゆみ)	平成23年3月1日採用
はるかホームヘルパー	横山 文乃(よこやま あやの)	平成23年3月1日採用
透析室クラーク	山下 美和(やました みわ)	平成23年3月2日採用
医事課	射手 舞(いて まい)	平成23年3月21日採用
はるかホームヘルパー	乾 ひろみ(いぬい ひろみ)	平成23年3月21日採用
安芸 副主任	大中 直美(おおなか なおみ)	平成23年3月21日採用
はるかホームヘルパー	岡上 未知留(おかうえ みちる)	平成23年3月21日採用
透析室看護師	沖 美和(おき みわ)	平成23年3月21日採用
はるか 主任	奥内 恵美子(おくうち えみこ)	平成23年3月21日採用
安芸看護師	小原 奈津紀(おはら なつき)	平成23年3月21日採用
はるかホームヘルパー	立石 智子(たていし ともこ)	平成23年3月21日採用
医事課 主任	満洲 由莉(みぞふゆり)	平成23年3月21日採用
臨床工学部	知原 水希(ちばら みずき)	平成23年4月1日採用
はるか介護福祉士	瀬田 真菜(はまだ まな)	平成23年4月1日採用
臨床工学部	保木 宏文(ほき ひろふみ)	平成23年4月1日採用
臨床工学部	吉永 佑規(よしなが ゆうき)	平成23年4月1日採用
透析室介護福祉士	長尾 俊輔(ながおしゅんすけ)	平成23年6月21日採用
透析室看護師	西森 加菜(にしもり かな)	平成23年7月1日採用
臨床工学部 副主任	森川 智輝(もりかわ ともてる)	平成23年8月1日採用
東部臨床工学部	小谷 英誉(おだに ひでよし)	平成23年9月21日採用
透析室 主任	村木 孝行(むらき たかゆき)	平成23年10月11日採用

# 透析療法部に3年連続!学術奨励賞 四国透析療法研究会で受賞

2021年10月17日に開催された四国透析療法研究会にて「透析液ET(エンドトキシン)測定法簡素化の検討」を発表させて頂き、学術奨励賞を受賞することができました。

臨床工学部 西村 光正 (にしむら こうせい)

四国透析療法研究会での学術奨励賞受賞は、一昨年在「知的障害者の血液透析導入への関わり」で看護部の徳平理絵さんが受賞、昨年は「透析拒否から中断に至った患者とその家族への関わり」で看護部の大崎純子さんが受賞されたため、透析療法部としては3年連続の受賞となります。

今年私は、当院の透析患者さんの治療に用いる透析液ETの測定法に関して発表しました。

透析中にETが体の中に入ってしまうと、発熱やショックを起こすなど体に悪影響を及ぼすので、必ず除去しなければいけません。今回の研究では透析液中に含まれるETの測定において、従来の測定方法の測定精度を保ちつつ、コストの削減と測定手技を大幅に簡略化することができました。

この研究で得た経験を生かして、患者さんにより良い透析治療を提供できるよう努めたいと思ひます。



左から徳平さん、西村さん、大崎さん

## 第55回 人生いろいろすずなりリレー

眞辺 宏生 さんから → 透析室 看護師 川村 舞鈴 (かわむら まうりん) さん



思い出を写真に残そう  
お気に入りの一枚を紹介します。



皆さんは思い出を写真に残していますか? 携帯電話、スマートフォンが普及し、いつでもどこでも思い立った時に写真が撮れる時代になりました。昔よりはるかに画質が良くカメラでなくてもとてもキレイな写真が撮れますね。子どもができてからは特に一瞬一瞬を写真に収めたくなり、スマートフォンの容量が常にいっぱいになっています。

前までは一眼レフカメラを持ってどこかへ出掛けては写真を撮る事もしていましたが、時間に追われる毎日でもそれの中々出来なくなりました。そんな中でもカメラを持って子どもと散歩に出掛けたりしています。

最近のお気に入りの一枚がこちらです。平日の人が少ない時間帯に行った桂浜での一枚、砂浜の足跡群です。

快晴で寒すぎず暑すぎず、とても過ごしやすい日でした。子どもたちと一緒に走り回り、楽しい時間を過ごせました。

子どもたちがもう少し大きくなり感染症が落ち着いたら、またカメラを持って遠出し、いつか仁淀ブルーを写真に撮りたいなあと思っています。



### 保育園・幼稚園入園おめでとう

すっかりお兄ちゃん・お姉ちゃんになったね。元気いっぱい登所してくる姿が見られなくなるのはさみしいけれど、それぞれ新しい場所で、たくさんのお友達と、笑顔いっぱい楽しく過ごしてね。



山下 航大くん  
(やました こうだい)



小川 莉衣花 ちゃん  
(おがわ れいか)



知原 生実くん  
(ちはら いくみ)



原 玖瑠実 ちゃん  
(はらくるみ)



隅田 真永くん  
(すみだ さな)



小野 龍正くん  
(おの りゅうせい)



竹内 逸樹くん  
(たけうち いつき)



畑山 果穂 ちゃん  
(はたやま かほ)



2021年11月14日、ちよテラホールにて公開講座「正しく知って、一緒に考えよう。腎臓病とその治療」が開催されました。

(主催：高知新聞社 共催：バクスター株式会社)

大田和道院長ら講演

新たな国民病ともいわれる慢性腎臓病。その予防や進行を防ぐための治療や食事管理、さらに腎機能が悪化した際の治療の選択について、3人の専門家が講演しました。

そのうちの一人、高知高須病院 大田和道院長は、「治療の選択は患者本人、ご家族、医療従事者が、時間をかけて一緒に考えていくことが大切です。」と話をしました。

今回の講演の様子は2021年12月24日 高知高須病院 大田和道院長



の高知新聞にも掲載されました。また、バクスター株式会社「いっしょに考える腎臓病」ウェブサイトには講演動画が掲載されていますので、興味のある方は是非ご覧になって下さい。

動画掲載ウェブサイトはこちら→



文章・写真は高知新聞公開講座「正しく知って、一緒に考えよう。腎臓病とその治療」より一部引用しています。(資料提供：バクスター株式会社)



### 分院 だより

## 新型コロナウイルス ワクチン接種に従事して

安芸透析室 副主任  
大中 直美  
(おおなか なおみ)



2020年に新型コロナ患者が日本で確認されて以降、日本はコロナ禍という大きな渦の中にいます。現在第6波の渦中にいますが、このコロナの渦を打破すべく自治体の方々がコロナワクチン接種の向上に取り組まれています。

安芸診療所がある安芸市でも2021年5月末から高齢者コロナワクチン接種が始まり、現段階で12歳以上の希望する方への2回目接種が終了しています。私は2021年の1回目接種から安芸市のコロナワクチン接種の手伝いをしています。

ご存知のとおりコロナワクチンはメーカーによって取扱い及び接種方法が異なります。日本ではワクチンは皮下注射が主ですが、コロナワクチンは筋肉注射のため、取扱いも含め接種方法などの講習をうけ、動画を確認するなどして接種従事前には準備をして臨みました。

私を含め、全従事者が未経験なので全ての事を

試行錯誤して進めていきました。接種に関して私の個人的な感想ではありますが、従来のワクチン接種の皮下注射に比べて個人差があるものの痛みが少ない印象です。中には打ったか解らなかったとおっしゃる方もいて、本当に接種したのかと疑われてしまう程でした(笑)。

コロナ禍で新しい出会いが少ない中、通常の業務では接点のない方々とのふれあいは楽しみでもあり、様々な貴重な経験となりました。そして2022年2月中旬より3回目接種が始まりました。

3回目接種も従事予定なので頑張りたいです。

### はるか だより

## はるかに獅子舞がやってきた！ ～ はるか1月行事レクリエーション ～

はるか介護福祉士  
濱田 真菜  
(はまだまな)

2022年に入り、1月も半ばになった19日。今年初めてのはるか行事が行われました。お正月を迎えてからは経ちましたが、獅子舞がはるかにやってきました！

獅子舞は疫病払いや悪魔払いとして人々にご利益をもたらしてくれるというおめでたいもので、昔からお正月やお祝いの席などで披露されてきました。

最近では、獅子舞を見る機会もめっきり少なくなりましたが、はるか入居者の方々にお正月らしさを感じて喜んでもらえるようにと、段ボールで獅子舞を作りました。凛々しくも可愛らしい獅子舞の出来栄に、「ようできちゅう」「こわいこわい」など様々な反応が…。

獅子舞に噛まれるとその部分が良くなるとの言い伝えに習い、皆さん頭や手を噛んでもらっていました。中には、「腰が痛い腰を噛んで」と言われる方

も…。そして、今年のはるかでただ一人年女の方がいらっしゃったので、干支の虎のお面をプレゼント。とても喜んで下さいました。

獅子舞に噛んでもらい厄払いをした後は、スタッフ手作りのぜんざいを食べて一息。「おいしい」「久しぶりに食べたね」と、甘味で癒されながらお正月を感じた一日となりました。

